

第17回 緩和ケア市民公開講座 アンケート結果

「あなた」か「わたし」のがんの話しよう

令和6年 11月 23日(土) 三川町 いろり火の里「なの花ホール」 13時30分～16時

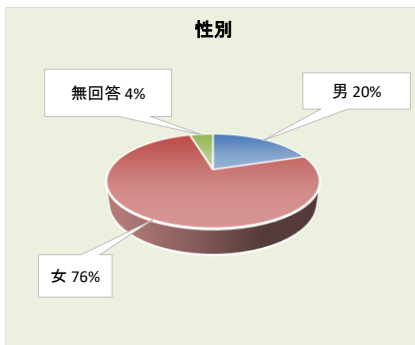
- ・「庄内プロジェクトについて」
鶴岡市立荘内病院 院長 鈴木 聡 氏
- ・講 演：「あなた」か「わたし」のがんの話しよう～がん経験者のリアルな生活
講師 NPO法人がんノート 代表理事 岸田 徹 氏
- ・座談会：「鶴岡・三川におけるがん患者さんの療養生活について」
登壇者 岸田徹氏 がん患者遺族、和泉典子氏、小林まゆみ氏、阿部美知子氏、佐々木淑江氏

《参加人数：117名 アンケート協力：90名》

<1. あなた自身について>

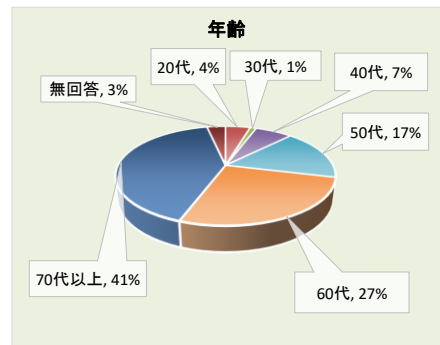
1- (1) 性別

男性	18
女性	68
無回答	11
合計	90



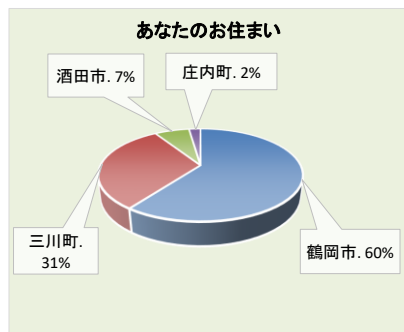
1- (2) 年代

20代	4
30代	1
40代	6
50代	15
60代	24
70代以上	37
無回答	3
合計	90



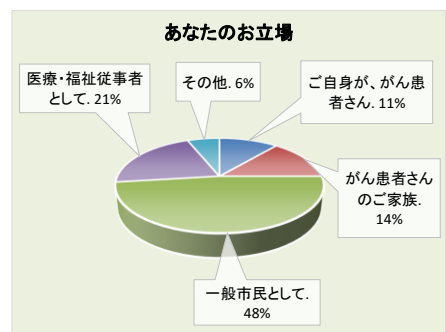
<2. あなたの住まいについて>

鶴岡市	54
三川町	28
酒田市	6
庄内町	2
その他	0
合計	90



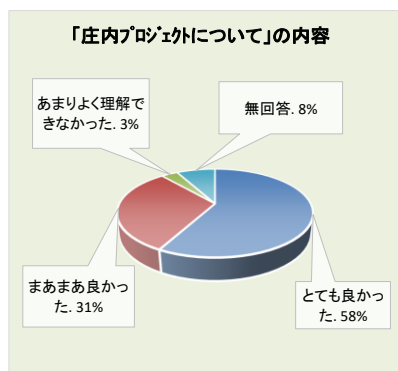
<3. あなたのお立場を教えてください(複数回答可)>

ご自身ががん患者さん	11
患者さんのご家族	14
一般市民として	48
医療・介護・福祉従事者	21
その他	6



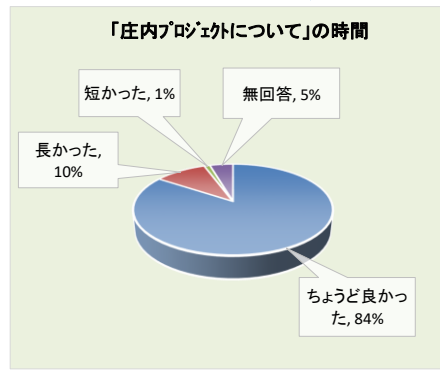
<4. 「庄内プロジェクトについて」いかがでしたか。>

とても良かった	52
まあまあ良かった	28
あまりよく理解できなかった	3
ほとんど理解できなかった	0
無回答	7
合計	90



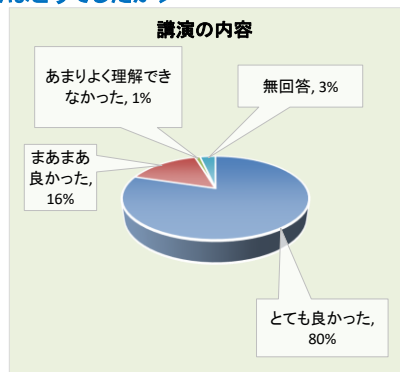
<5. 「庄内プロジェクトについて」の時間の長さは>

ちょうどよかった	76
長かった	9
短かった	1
無回答	4
合計	90



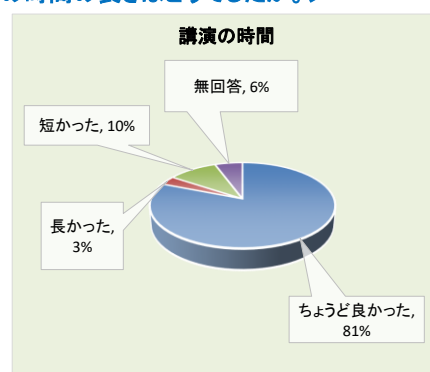
<6. 講演についてはどうでしたか>

とても良かった	72
まあまあ良かった	14
あまりよく理解できなかった	1
ほとんど理解できなかった	0
無回答	3
合計	90



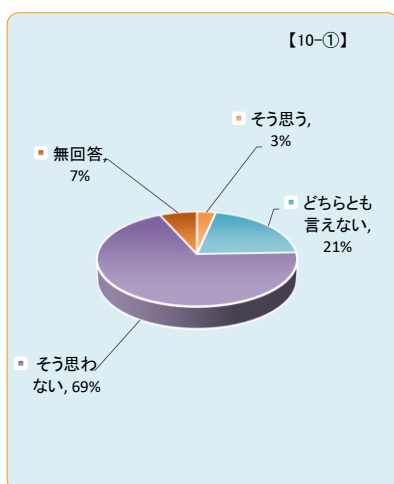
<7. 講演の時間の長さはどうでしたか>

ちょうどよかった	73
長かった	3
短かった	9
無回答	5
合計	90

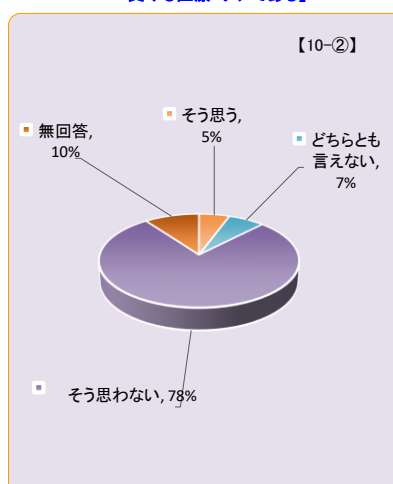


<10.緩和ケアや在宅医療についてのあなたのイメージについてうかがいます。>

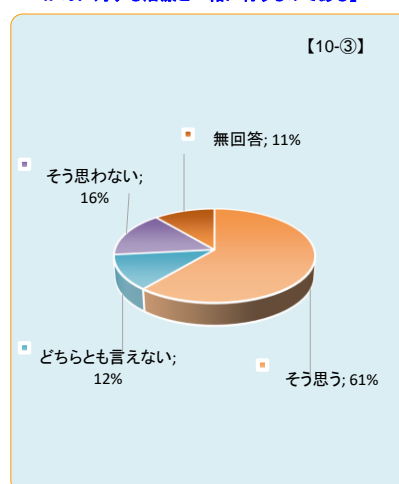
【①がんになっても病名を告知されたくない】



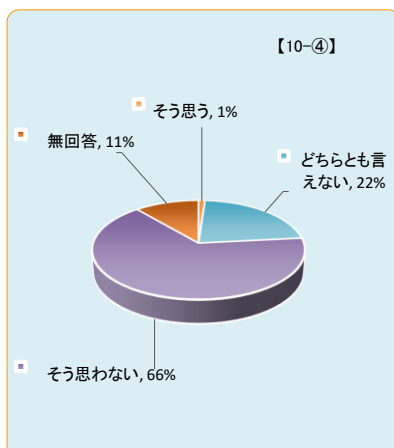
【②緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける医療・ケアである】



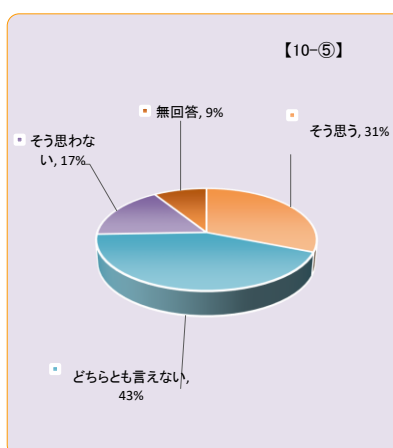
【③緩和ケアとは、化学療法や放射線治療などがんに対する治療と一緒に進むものである】



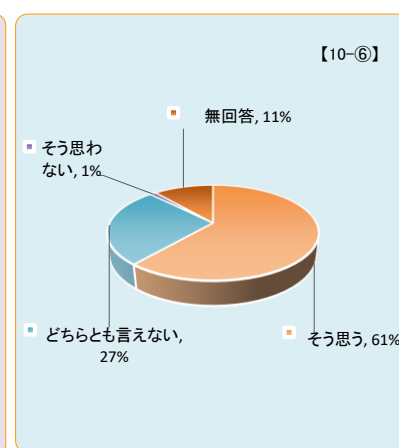
【④医療用麻薬を使用すると中毒になる】



【⑤あなたが、がんになったら、最期は自宅で過ごしたいと思いませんか】

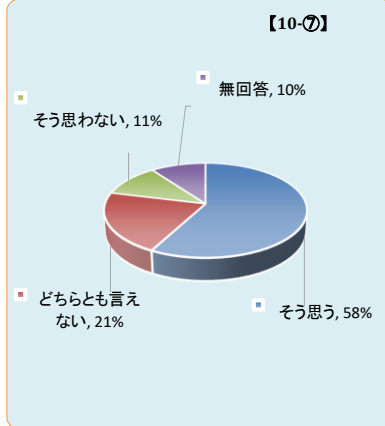


【⑥自宅で療養することは、介護してくれる家族に負担が大きい】



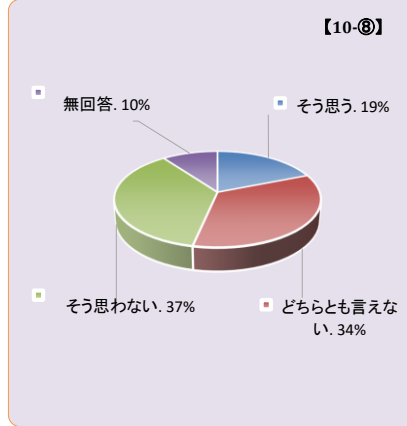
【⑦自宅では、症状が急に悪くなったとの対応が不安である】

【10-⑦】



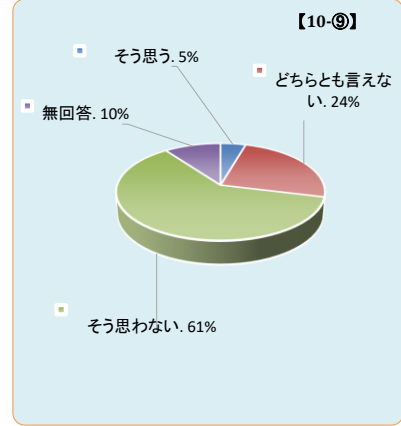
【⑧自宅では、十分に苦痛を和らげることが出来ない】

【10-⑧】



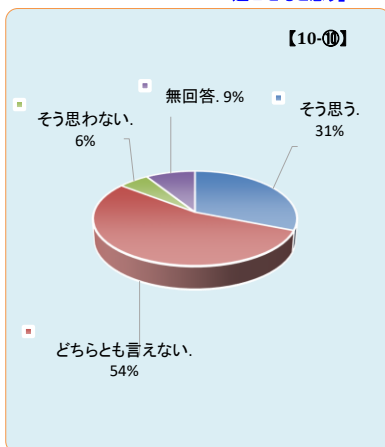
【自宅で最後を看取することは家族が患者に十分な医療を与えていない事になると世間から思われる】

【10-⑨】



【⑩この地域では、がんになっても安心して過ごせると思う】

【10-⑩】



《ご意見・ご要望・ご感想等の自由記述》

- ❖ 息子がガンになり、本人より自分が心配で、緩和ケアに行けたら良かったと思いました。
- ❖ 岸田先生のお話、大変良かったです。ありがとうございました。
- ❖ 昨年も参加しました。貴重な機会をありがとうございました。
- ❖ 糖尿病などについても知りたいです。
- ❖ 情報の大切さを再認識しました。でも情報があってもたどり着けない方もたくさんいらっしゃると思います。気軽に聞ける場所が増えると良いと思います。(相談だけで病院には入りにくい)
- ❖ 自分らしく生きるためにとっても大事なことで強く思いました。自分が住むところに和泉先生やチームの皆さまがいることを知ること、生きるための安心=不安がなくなると私は思いました。今日はありがとうございました。
- ❖ 岸田先生の講演良かったです。
- ❖ ガン相談外来が興味深かった。地元でセカンドオピニオンを受けられるのは金銭的のありがたい話だ。
- ❖ 夫婦共にうつです。うつの人がうつの人支えるには？大腸ガンで3度手術を受けました。好みも変わって手の込んだ料理よりさっぱり系を好んで食しております。
- ❖ 菅原さんの話を聞いて良かったです。
- ❖ とても素晴らしいお話を聴くことができました。もしもの時にきっと役に立つだろうと心強く感じました。これからもこうした企画を続けてほしいと思います。お疲れ様です。
- ❖ もう少し明るくしてほしかった。活字が見えにくかった。
- ❖ とても良い講演でした。

- ❖ 初めて参加させていただきました。色々と知る事が出来て、勉強になりました。
また機会がありましたら参加したいです。”think big”私も大きく考えます。
- ❖ 今日の講座いろいろと前向きになる事の大切さを知りました。在宅医療のケアチームの連携プレーの大切さ等学べました。
がん相談外来の事も(国立がん研究センター東病棟)セカンドオピニオンも身近に感じられる講座ありがとうございました。
- ❖ 知らないでいる事がたくさん聞けて、とても知識が広がりました。
病院の力って大きいんですね。あらためて思いました。
- ❖ 鶴岡市の会場でも開催してほしい。会場が近いと参加出来る方も増えるのではないかな。
- ❖ 死はこわいとかつらいとかはなく、生きる事が生きていく事がみにくくなっていく自身と向き合い、
人生の時間が苦しいと思う。
死のほうが楽。生きるために戦っている人は強い人で、二人に一人がガンになる時代、そんなに強い人はいないと思う。
- ❖ ガンになったら荘内病院にかかりたいと感じました。
- ❖ 庄内プロジェクトの件は初めて知りました。
- ❖ CMに出ていた人とは知りませんでしたが、つらい経験をしてきたとは思えないほど素晴らしい体験を聞かせてもらい、良かったです。近くにガンの人もいますので今日の事を話したいと思います。
今日はありがとうございました。
- ❖ 岸田さん、笑いあり前向きなお話が聴けて良かった。ガンノートの活動すばらしいと思った。
- ❖ 荘内病院の相談外来や全国の相談先を知ることができて良かった。座談会の内容もためになった。
- ❖ 身近な大切なことなのに、避けて通りたい、話題にしたくない＝不安、知らない事が多いと思う。
誰でもガンにかかるかもしれない時代なのに自分だけは大丈夫じゃないかと思っていて、いざその時に絶望に近い思いを持つと思われる。
このような機会に今後も参加していざという時に「何か力になるかも」というより所の一つにしたいです。
- ❖ 「がんノート」の活動、ぜひ拝見させていただきたいです。
- ❖ いざという時は一人で悩まず、積極的に相談にいきたいと思いました。
今日はとても勉強になりました。
- ❖ 岸田さんのお話はとてもわかりやすく、がん患者ののみならず、予防や治療のこと、考え方まで深く考えることができました。あっという間の時間でした。庄内へのメッセージもうれしかったです。
座談会もそれぞれの活動が知れて良かったです。
- ❖ 支援体制が整っている地域であること、自分がもしその立場になった時、安心してケアが受けられることをよく知れました。
毎年参加させていただいておりますが、毎回の企画すばらしく感じています。ありがとうございます。
- ❖ さまざまな立場からの活動や、体験などを聞き、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ❖ 緩和ケア市民公開講座に5年間くらい続けて参加させていただいております。
庄内プロジェクトがあるので、この土地で安心して生活できます。
今回の講演も素晴らしく、また、活動も積極的に行っている姿をみて、胸がジーンとしました。
本も購入し、拝読が楽しみです。(握手もしてくださってとても力強かったです。ありがとうございます。)
- ❖ スライド資料と座談会発言者要旨を資料として配布いただけると、なお良いと思います。
- ❖ がん患者さんの生活について、体験者の岸田さんからお話を聞いたことは、貴重な時間でした。
がんノート、チャンネル登録したいと思います。
- ❖ 岸田さんのお話、客観的事実、情報に基づいた治療、療養は、安心して聴くことが出来た。
病気に立ち向かう自身の心の変化、持ち方をもう少し詳しくうかがいたかった。



～ご協力ありがとうございました～
南庄内緩和ケア推進協議会